

長久手市立地適正化計画策定のためのワークショップ “あえて歩いてみたくなるまち”について考えてみませんか？

第2回 Newsletter

TEL : 0561-56-0622

E-mail : keikaku@nagakute.aichi.jp

発行：長久手市役所都市計画課

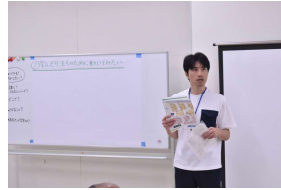
長久手市では、将来の人口減少・高齢化を見据え、コンパクト+ネットワーク※なまちづくりを進めるために「長久手市立地適正化計画」の策定を進めています。

7月29日、西小校区共生ステーションにて、第2回“あえて歩いてみたくなるまち”について考えるワークショップを開催しました。当日は総勢11名に参加いただき、活発なワークショップとなりました！

※医療・福祉施設、商業施設等や住居がまとまって立地し、様々な世代の住民が公共交通・徒歩等により容易にアクセスできるまちづくりの考え方

1 前回のふりかえり

ニュースレターを使い、前回ワークショップのふりかえりをしました。「どのような暮らしがしたいか」、「どのようなまちにしていきたいか」で出た意見を紹介し、第2回のワークショップではその実現に向け、「自分たちで何が出来るか」を話し合ってくださいことを説明しました。



2 話題提供 「居心地がよく、歩いて暮らせるまちに向けて～ビジョンにみるこれから～」

講師の吉村先生(日本福祉大学教授)に居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成について話題提供をしていただきました。これからのまちには空間やスペースの整備だけでなく、人々の居場所づくりが求められていることや、まちを使いこなすイメージ図を使用したまちづくりビジョンの事例を紹介していただき、後半のグループワークが活性化するような時間となりました。



3 地区の将来について

第1回で考えた「自分のしたい暮らし」の実現のために、今の内に自分たちで何ができるか、何がしたいかを話し合いました。

1 グループの主な意見

●現在

- ・同じ境遇、趣味の人がつながる
- ・いろんな人が集まってつながる
- ・同年代の子どもがいる人と情報交換がしたい
- ・弘法さん、お月見どろぼう等の地域行事で交流
- ・高齢者のお宅の玄関先が見られるようになると声がかげやすく、関わりやすい。
- ・桜ヶ根公園でお友達と鬼ごっこがしたい
- ・誰でも行けるおばあちゃんの家、子どもと高齢者が交流できる古民家
- ・まちづくり参加への住民意識の高揚が必要
- ・他の共生ステーションでも活動をとりまとめる委員会を立ち上げると取り組みが展開できる
- ・直島アートみたいに様々な場所で音楽を聴いて回れるようなまち

料理好きで集まって、作った料理をシェアする企画してみたいな。味噌、米こうじ、梅干しとか良さそうじゃない？



はなみずき通広場で音楽やっている人を集めてフェスがしたいな



共生ステーションで困ってる人の相談に乗ったり、情報提供ができるんじゃない？

2 グループの主な意見

●現在

- ・小学生の登下校の見守り活動、ごみひろいを続けていきたい
- ・1人でも継続できるようにボランティア活動の方法・ルールを広めたい
- ・自由に街づくりに参加できると楽しそう！
- ・地域の公園をみんなで考えてつくと、愛着が持てそう
- ・やりたいことがある人と教えたい人をつなぐ仕組みづくり
- ・それぞれの目線でまちにあったらしいコト・モノを具体的に考えられる場
- ・マルシェに出店してみたいけど、やり方が分からない！

今、共生ステーションでフジバカマを植える活動をやってるよ～

これからも柔軟にボランティア活動をしていきたいな



これから、まちのことを考える場にもっと参加する！！

3 グループの主な意見

●現在

- ・愛知県の健康アプリを活用した仲間作り
- ・スポーツを教えあえる場づくり
- ・色々な「得意」を持った人が披露するイベント
- ・香流川ウォークラリー、四季の彩り、生物観察、植物観察
- ・夏は暑いから、水あそび、川あそびが出来るといい
- ・店先にランニングの給水ポイントを設置
- ・水でっぽうで水をかけあうイベントを企画
- ・ボール、ラケットetc.道具を借りれる、シェアするしくみを作る
- ・歴史を活かした観光まちあるき

みんなでランニングの練習しようよ！長久手市内駅とか開いたら、楽しそうだよ

詳しい市民が生物、植物の解説板を作って道に設置！あのひとなら出来そうだな...

お店とか自宅前で打ち水イベントをして、夏でも快適に歩こう！



4 まとめ

各グループの発表後、吉村先生から、総括をいただきました。

本日のみなさんの話の中に「とりあえずやってみよう！」が大事なキーワードとして挙がっていました。これから実験的でも良いので、ぜひ活動を実践していただきたいと思います。行政が市民のまちづくり活動を支援し、長久手にすでにある空間が、個人のやってみようを実現できる場に活用されることを期待しています。



吉村 輝彦 先生
(日本福祉大学)

今回のワークショップでいただいた意見について

立地適正化計画策定(今年度策定予定)にあたり、今回のワークショップでいただいたご意見を参考に誘導施策等を定めていくこととなります。長久手市立地適正化計画の内容については、令和6年1月に実施予定のパブリックコメントで、ご意見をいただければと思います。